



■HTLV-1抗体検査

HTLV-1はウイルスの名前で、ヒトT細胞白血病ウイルス1型(human T-cell leukemia virus type 1)の略です。

HTLV-1抗体検査は、このウイルスの感染により、感染した人の体内に作られる抗体という物質の有無を、妊娠中期に行う採血により調べるものです。
血液中にHTLV-1抗体がある人は、このウイルスに感染している可能性があります。

HTLV-1の主要な感染経路は、出生後の授乳によっておきる、母親から子供への母乳を介した垂直感染で、その他には輸血、性行為などで感染する可能性があると考えられています。

母乳による感染の場合、母乳中の白血球が感染源になりますが、母乳を冷凍することで白血球が死んでしまうと感染力はなくなります。

輸血による感染に関しては、現在では輸血用血液に対してHTLV-1抗体検査を行っていますので、感染の心配はありません。性行為による感染は、HTLV-1に感染している男性の精液中の白血球が感染源で、主として夫から妻への感染がおこり、妻から夫へは感染しないとされています。

前回妊娠時のHTLV-1抗体検査が陰性でも、性行為感染により、次の妊娠時は陽性になる可能性があり、妊娠ごとにHTLV-1抗体検査を受ける必要があります。

※当院では以前、ATLA(ATL関連抗原)抗体の名前で検査をしていました。現在では検査名をHTLV-1抗体に変更しましたが、以前と同じ方法で測定しています。

